

1 酸度矯正

- ・必ず石灰質資材を100kg/10a施用し、土壌pHを6.0～6.5に矯正する。

2 播種作業

(1) 作業計画の策定

- ・青立ち株の発生が多い場合は、6月1日以降に播種する。
- ・耕起から播種の一連の作業は、土壌が十分に乾いた日に1日で行う。

(2) 播種量

- ・品種や播種時期に応じて、下表を参考に播種量を決定する。
- ・苗立率の低い圃場や青立ち株の発生が多い圃場は、播種量を増やす。
- ・播種作業中に落下粒数を確認する。

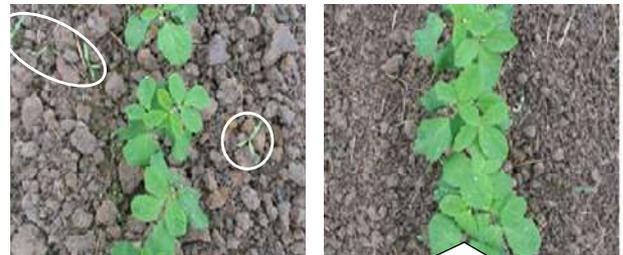
| 品種 | 播種時期 | 栽植本数 (千本/10a) | 播種量 | |
|-------|------------|------------------|--------|------------|
| | | | 1mあたり | 重量(kg/10a) |
| エンレイ | 5月26日～6月上旬 | 14～16 | 13～15粒 | 5.1～5.9 |
| | 6月中旬 | 16～18 | 15～16粒 | 5.9～6.6 |
| シュウレイ | 6月上旬 | 12～15 | 11～14粒 | 4.4～5.5 |
| | 6月中旬 | 15～18 | 14～16粒 | 5.5～6.6 |

※播種量は苗立率90%、条間80cm、百粒重：エンレイ33.1g、シュウレイ33.1gの場合

(3) 基肥量

- ・基肥の種類や圃場条件に応じて、下表を参考に基肥量を決定する。

| 基肥名 | 10a施肥量 |
|---------|-----------------------------|
| BB基肥084 | 単作 30kg |
| | 麦あと 40kg |
| | ※ヘアリーベッチを すき込んだ場合：0～15kg |
| LPs大豆専用 | 単作 25kg |
| | 麦あと 30kg |



砕土率が高いと
苗立率と除草剤の効果が向上

※青立ち株の発生が多い場合は2～3割減肥する。

(4) 播種作業

- ・トラクターの車速は「低速」、ロータリは「高速」とし、砕土率を高める。
- ・播種深度は適切（3cm程度）か、覆土はかかっているか、を必ず確認する。

(5) 播種後の排水対策

- ・播種後の溝や額縁排水溝を手直しするとともに、確実に排水口へ連結する。

3 除草剤散布

- ・播種後、速やかに散布する。

※散布直後に多量の降雨があると薬害が生じる恐れがあるため、天候を見極めて散布する。

| 薬剤名 | 10a 当たり散布量 | |
|-----------|------------|-----------|
| プロールプラス乳剤 | 400～600ml | 水 100ℓ |
| ラクサー乳剤 | 400～800ml | |
| ラクサー粒剤 | 4～8kg | |

大豆の単収向上のためには排水対策が重要！

3/1～5/31 春の農作業安全運動実施中！

【お問合わせ先】

JAIみず野営農指導課 TEL52-6805 高岡農林振興センター農業普及課射水班 TEL26-8478
JAみず野ホームページ <http://www.ja-imizuno.or.jp/>